

五感で学ぶ

# 九州学

入場無料

Vol.3

第1部 (13:15~14:45)

## 「中谷 健太郎氏と 溝口 薫平氏に聞く」

聞き役：別府大学文学部長 飯沼 賢司



シンポジウム

# 由布院

地域の魅力を  
世界に発信

託児サービスあります

※託児サービスをご希望の方は、提携先のあいむ保育園いしがき園 (0977-22-6688) で受け入れ可能です。(前日 18時までの事前予約が必要です)

第2部 (15:00~16:20)

## 「由布院から何を学ぶか」

コーディネーター：飯沼 賢司 (別府大学教授)

パネリスト：金谷 俊樹 (別府大学文化財研究所客員研究員) /

中山 昭則 (別府大学教授) / 篠藤 明德 (別府大学教授)

2017年1月21日(土)

13:00~16:30 別府大学 3号館ホール

[主催] 別府大学

[後援] 大分県 / 大分銀行 / JR九州大分支社 / 大分合同新聞社

[写真提供] 山田哲也

[問い合わせ先] 別府大学歴史文化総合研究センター

〒874-0915 別府市桜ヶ丘 5-2 TEL:0977-27-6116 / FAX:0977-27-6117

# 九州学

これは“全身で得る”学問。

シンポジウム九州学 Vol. 3

## 「由布院 地域の魅力を世界に発信」

本年4月に起こった熊本・大分大地震は熊本・阿蘇地方を中心に由布院・別府にも大きな被害を出し、未だその傷は癒えていません。本年の「九州学」は、「がんばろう九州」をスローガンに掲げ、厳しい自然と向き合う九州が復興をめざすことを願って、九州の自然、災害の教訓、九州の魅力をさぐる企画を考えました。

本年度の「九州学」最後の企画ともなる本シンポジウムでは、今回の地震にもめげず九州観光の復興を目指している「由布院」を取り上げることにしました。

由布院は別府観光の父油屋熊八が別府の奥座敷として亀の井別荘を開き、それを預かった中谷巳次郎が熊八とともに由布院観光の礎を築きました。その後、その流れを継承し、日本全国、世界に由布院を発信したのが中谷健太郎・溝口薫平両氏です。今回はこのお二人に登場していただき、地域の魅力をいかに世界に発信してきたのかを熱く語っていただきます。

第1部 (13:15~14:45)

### 「中谷健太郎氏と 溝口薫平氏に聞く」

聞き役：別府大学文学部長 飯沼賢司

第2部 (15:00~16:20)

### 「由布院から何を学ぶか」

コーディネーター：飯沼賢司

パネリスト：金谷俊樹（別府大学文化財研究所客員研究員）

中山昭則（別府大学教授）

篠藤明德（別府大学教授）

スケジュール

ご紹介

### 中谷 健太郎

1934年生まれ。映画の助監督を経て、亀の井別荘経営者となる。

1970年7月に由布院にゴルフ場建設計画が持ち上がると、『由布院の自然を守る会』を結成して反対運動を展開、自然景観を重視しゴルフ場建設を阻止。1971年に玉の湯の溝口薫平らとともに50日間にわたりヨーロッパ各地の観光地や温泉保養地を私費で視察してまちづくりを学ぶ。1975年4月の大分県中部地震により、由布院温泉が風評被害を受け、観光客が低迷すると、ゆふいん音楽祭、湯布院映画祭などの文化イベントを企画し再生を図った。

11年前の平成大合併に対しては、中谷は敢然と異を唱えた。由布院の町の有り様は、①小さいから、身近に暖かい関係が生まれる②小さいから、個性的な価値を生み出せる③小さいから、大きな資本は必要としないと。地域にある文化や自然資源を育てることで、まちおこしを展開し由布院を活性化し、その観光的地位を揺るぎないものにした。

### 溝口 薫平

1933年九重町に生まれる。由布院玉の湯の経営者。中谷健太郎とともに『自然を守る会』を結成した。1971年のヨーロッパ各地への視察には中谷健太郎、志手康二（夢想園）らとともに出かけ、観光、保養地の在り方を学んできた。1975年の大分県中部地震においても、中谷とともにタッグを組み、音楽祭、映画祭、牛喰い絶叫大会などを開催し、由布院の低迷を解消し、由布院観光を大きくアピールした。溝口は若い頃日田市の博物館に勤務しており、自然史研究の専門家でもあった。そのこともあり、日本ではじめて観光地において自然保護を主張したさきがけ的存在であり、自然景観を大切にしたい温泉保養地づくりに中谷とともに奔走した。また、町内の情報交換の促進などにより、住民のまちづくりへの参加意識の高揚、地域の活性化にも貢献した。

